

第28回

日本MH大賞 応募のご案内

日本MH大賞は、わが国のMH(マテリアル・ハンドリング)に関わる技術・理論などの更なる向上を目的とし、個人・グループ・企業の優れた研究・開発や改善・合理化を顕彰し、その業績を称え関連企業の振興を図ると共に、広く普及ならびに啓発するものであります。
この機会をご活用いただき、皆様の積極的な応募をお待ちしております。



主催：日本MH協会

協賛：(一社)日本運搬車両機器協会、(一社)日本物流システム機器協会、(公社)日本包装技術協会

日本MH大賞応募要領



候補対象

日本国内の企業・団体・学校・研究機関などが、MHに関して、2020年4月～2022年3月までの間に実用化または実用化が予定されている下記のもの。

- MHに関わるシステム・機器・情報システムの開発
 - MHに関わる改善・合理化事例
(日本企業の改善・合理化事例等であれば、実施場所は問わず、それに使用する機器・システムも日本製のものに限りません。)
 - 物流現場におけるコロナ対策としての改善事例など。
- なお、応募は各社(団体)で一点までとさせていただきます。

応募資格

会員、非会員を問わずどなたでも応募できます。
特に協賛団体からの応募も大歓迎いたします。

応募方法

下記資料を日本MH協会「日本MH大賞係」までご送付願います。

1. 申込書

当協会ホームページからダウンロードいただけます。
<http://www.jmhs.gr.jp/>

2. 応募内容の効果が解る資料を各2部

例えばカタログ、関連データ、論文、構成図、写真など。

応募の締め切り(予定)

2022年(令和4年)4月中旬



日本MH大賞応募のご案内

日本MH大賞は、故下地亀松氏(当協会元顧問)の当協会およびわが国のMH業界に対する多年の功績を記念して、1987年(昭和62年)に発足した顕彰制度「下地賞」が基礎になっております。平成18年の日本MH協会創立50周年を機に従来からある「優良MH機器ならびにシステム大賞」と一体化し、より充実した権威のある顕彰制度であります。

審査の方法／選考結果

ご提出いただきました申込書、資料ならびに応募内容の説明に基づき、日本MH大賞選考委員会(数名の有識者)において、その効果を「新規性」「機能性」「将来性」「経済性」「環境性」「安全性」「省エネ性」などの観点から総合的に審査いたします。

選考結果は2022年(令和4年)5月上旬にお知らせいたします。

応募内容の説明会

審査にあたり、選考委員に対して、応募内容のご説明を行っていただきます。スケジュールについては、後日応募者にご案内いたします。

受賞された方の特典

1. 当協会が参画する展示会などでの発表ができます。併せて受賞内容のパネル展示ができます。
2. 協会ホームページおよび協会機関誌「MHジャーナル」で受賞作品を掲載します。
3. 受賞内容を日刊工業新聞をはじめ物流関連誌・紙にニュースリリースいたします。

受賞された方へのお願い

1. 2022年(令和4年)5月中旬に行う通常総会にて表彰式を行う予定ですが、コロナ禍により総会での表彰式が行えない場合は、別途、オンラインなどでの発表の場をご用意します。
2. 非会員の方は日本MH協会への入会をお願いします。
入会に関する情報はこちら
http://www.jmhs.gr.jp/members/JMHS_Entry.htm

前回(第27回)の受賞社

(敬称略)

特別賞

- 人手不足問題を解決するマテハンロボット機器
株式会社 MUJIN

優秀賞

- 物流支援ロボットCarriRo/無人フォークリフトCarriRo Fork
株式会社 ZMP
- 3辺高速自動包装機「TXP-600」
株式会社 タナックス

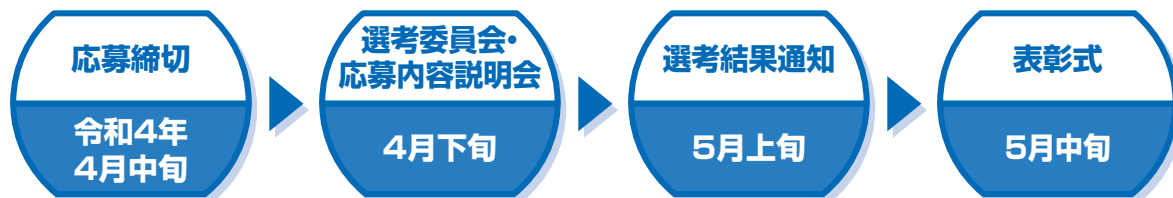
奨励賞

- ネジの数量間違いの「品質改善」と「作業効率UP」
TSK株式会社

その他

- 受賞者発表前の審査状況や応募者などのお問い合わせにつきましては、お答えできないことを予めご了承ください。
- 応募は無料ですが、申請に伴う資料作成や送料などは応募者にてご負担ください。
- 応募にあたってご提出いただいた書類・資料などは、ご返却いたしませんので予めご了承ください。

スケジュール(暫定)



※日程が確定次第応募者にお知らせします。コロナ禍の影響により、日程は変更となる場合があります。

送付先・お問い合わせ先

日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会 「日本MH大賞」係
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL : 03-3543-9335 FAX : 03-3543-8970
<http://www.jmhs.gr.jp/>

